事

三年

画数 8
筆順 一 ㄇ 耳 耳 事
オン ジ・ズ
クン こと

成り立ち

"中"という字を手でにぎった形をあらわした"史(中と又とで"史")"に"一"をくわえて作った字。

"史(4年 530)"は、「ものごとをかたよらずしょりする"役人(ヤクニン)"」をあらわした字で、これに"一"をくわえた"事"は「役人のする"しごと"」をあらわしたものです。"しごと"、または"こと"をあらわした字です。

「一つの"こと"に手を集中する"こと"」であるとかんがえたらおぼえやすいかもしれませんね。

〔事は"吏"と同じく、"一"と"史"との会意字であるが、"吏"が「役所につとめる人」を表しているのに対し、"事"は「役所における仕事」を表したものである。〕

使い方

▽「きょうは、する事がいっぱいあるから、てつだってちょうだい」と、おかあさんにいわれました。

▽おとうさんが仕事にでかけると、おかあさんは、そうじや、せんたくをします。そうじやせんたくや、食事をつくるのは、おかあさんの仕事です。

熟語例

▽仕事(しごと)(しなくてはならない事。つとめ)

▽事実(じじつ)(実際におこった事。「春男(はるお)のいった事は、ぜんぶ事実だ」などというふうに、つかいます。)

▽事件(じけん)(でき事。「そのひきにげ事件は、ま夜中(よなか)におこった」などというふうに、つかいます。)

▽事故(じこ)(わるいでき事。ふこうなでき事。「りょこう中(ちゅう)に、自動車事故(じどうしゃじこ)にあった」などというふうに、つかいます。)

▽事情(じじょう)(その事のようす。その事が、そうなったわけ。「事情を聞(き)くと、事故がおこったのも、あたりまえだ」などというふうに、つかいます。)

▽悪事(あくじ)(悪(わる)い事(こと)。悪いおこない。「悪事のむくいで、今は、ふこうなくらしをしている」などと、つかいます。)

持

三年

画数 9
筆順 一 十 扌 扌 持
オン ジ
クン もち・つ

成り立ち

"やくしょ"をあらわし、"きまり"のいみをあらわした"寺(ジ)"と、"手"の形をあらわした"扌(てへん)"とを組み合わせた字で、「"きまり"を"手"にもつ」ことをあらわした字です。

"きまり"は"まもりつづける"ことがひつようなので、「もちつづける」といういみをあらわしました。

「長くもちつづける」といういみから、たんに「手に"もつ"」といういみにつかわれるようになりました。

"保持(ホジ)""維持(イジ)""持論(ジロン)"などの"持"は「長くもちつづける」いみですが、"所持(ショジ)""持参(ジサン)"などは、たんに"もつ"といういみです。

使い方

▽どんなことでも持続してしませんと、そのききめはなかなか出てくるものではありません。だから、なにをするのにも持久力がだいじだと思います。

▽向上(コウジョウ)につとめなければ現状(ゲンジョウ)も維持できない、というのが先生の持論です。

熟語例

▽持続(ジゾク)(その状態(ジョウタイ)を長く"たもち"続(つづ)けること。)

▽持久(じきゅう)(久しく持ちこたえること。長いことがまんし続けること。)

▽維持(イジ)(今の状態をそのまま長く"たもち"続けること。"持続"とほとんど同じいみのことばです。)

▽持論(ジロン)(ふだんから長いこと持ち続けてきた意見。論(ケン)(年 1016)は「すじの通った意見」のこと。)

▽堅持(ケンじ)(「堅(かた)く持つ」のいみで、意見やたいどを堅くたもち続けてかえないことをいいます。)

▽護持(ごじ)(「護(まも)り続ける」のいみで、だいじに護り続けることをいいます。)

▽支持(しじ)(「支(ささ)え持つ」のいみで、ある意見にさんせいして、そのあとおしをすることをいいます。)